

議 事 録

会議の名称	平成 28 年度第 1 回茨木市立文化財資料館運営審議会
開催日時	平成 28 年 5 月 23 日 (月) (午前・ 午後) 6 時 0 0 分 開会 (午前・ 午後) 7 時 3 0 分 閉会
開催場所	文化財資料館 2 階 研修室
出席者	委員長：瀧端 真理子 (追手門学院大学心理学部教授) 副委員長：岡市 正規 (茨木神社宮司) 委員：足立 久美子 (公益財団法人 堺都市政策研究所理事) 中谷 早苗 (千提寺キリシタン遺物保存会役員) 白井 亮吾 (茨木市小学校社会科研究部会副部長 (豊川小学校)) 難波 洋三 (奈良文化財研究所 客員研究員) 若林 邦彦 (同志社大学歴史資料館准教授) 吉村 健 (大阪府立茨木高等学校指導教諭) 四方 英之 (茨木市立畑田小学校校長) (敬称略) 【計 9 人】
欠席者	辻尾 榮市 (大阪府立大学大学院客員研究員) (敬称略)
事務局職員	岡田 祐一 教育長、乾 克文 教育総務部長、 辻田 新一 社会教育振興課長、前田 聡志 文化財係長、 清水 邦彦 学芸員、高橋 伸拓 学芸員、桑野 梓 学芸員、 山田 なつこ 文化財調査員 【計 8 人】
開催形態	公開 / 非公開
議題 (案件)	(1) 平成 27 年度文化財資料館等事業報告について (2) 平成 28 年度文化財資料館等事業計画について
配布資料	平成 28 年度 第 1 回 茨木市立文化財資料館運営審議会 資料

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 要 旨 ・ 決 定 事 項
事務局	【開会】
教育長	【開会挨拶】
事務局	【会議の成立】 全委員 10 人中 9 人出席につき、茨木市立文化財資料館運営審議会規則第 4 条第 3 項の規定により、本会議は成立する旨を説明。
事務局	【委員の紹介】 平成 28 年 5 月 1 日付けで新たに委嘱された 10 名の委員の紹介。
事務局	【事務局の紹介】 平成 28 年 4 月 1 日付けの人事異動に伴う事務局職員及び新規採用職員の紹介。
	《案件 1 委員長・副委員長の選出》
事務局	【委員長及び副委員長の選出】 茨木市立文化財資料館運営審議会規則第 3 条第 1 項「審議会に委員長及び副委員長各 1 人を置き、委員の互選とする」により、互選による選出を説明。
岡市委員	委員長は、瀧端委員にお願いしたいと思います。 (異議なしの声) —他委員の賛同を得て、委員長は瀧端真理子委員に決定—
若林委員	【副委員長の選出】 副委員長について岡市委員にお願いしたいと思います。 (異議なしの声)

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 要 旨 ・ 決 定 事 項
	—他委員の賛同を得て、副委員長は岡市正規委員に決定—
	<p>【議事の進行の交代】 議事の進行を事務局から瀧端委員長に交代</p> <p>【就任挨拶・審議の公開について】 審議会及び会議録の公開・非公開について諮りたいと思います。公開についての説明を事務局からお願いします。</p>
瀧端委員長	
事務局	「茨木市審議会等の会議の公開に関する指針」に基づき、原則公開の旨を説明。資料の閲覧、持ち帰りも審議会の判断で可能であること、会議録についても公表に努めている旨を説明。
瀧端委員長	審議会については原則に則り公開とし、非公開とすべき案件が発生したときは皆様にお諮りし、非公開を決定します。会議録についても公開とし、資料についても傍聴者への閲覧及び持ち帰りを許したいと思いますが、ご異議ございませんか。
	(異議なしの声)
瀧端委員長	本審議会は公開とし、資料の閲覧及び持ち帰りも許可することといたします。傍聴人がいらっしゃるか確認してください。
事務局	いらっしゃいません。
	《案件 2 平成 28 年度文化財資料館等事業報告について》
瀧端委員長	では次第に従い、報告事項の「平成 27 年度文化財資料館等事業報告について」、事務局から報告、説明をお願いします。
事務局	平成 27 年度文化財資料館等事業報告資料をもとに説明。
瀧端委員長	展示に力を入れつつ、教育普及、資料管理および収集、調査研究と非常に多方面にわたる活躍をされていると思います。説明ならびに報告事項について、ご意見・質問等をお願いします。
瀧端委員長	ひとつ私からよろしいでしょうか。館報について、デジタル公開はして

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 要 旨 ・ 決 定 事 項
	いないのでしょうか。
事務局	まだ実施はしておりません。今後、市のホームページ内の文化財資料館のページ内に「学芸員のページ」を設け、そのなかで、館報所収の調査・研究成果を公開する予定です。
瀧端委員長	昨年 of 審議会では、館報の公開については図書館との連携を図りながら進めるとのお話がありました。
事務局	資料館独自での公開が難しい場合は、図書館のHPでの公開してもらってもよいのではというご提案を頂きましたが、まずは、資料館独自で公開していくことを考えていきたいと思います。
瀧端委員長	館報には平成 26 年度の内容が載っているのですが、資料調査の欄で、個人の方に対して「市史編さん室所蔵写真データで対応」とありますが、資料を資料館でお持ちではないのでしょうか。
事務局	資料館で実物を所有しております。市史編さん室では市史編さん事業に伴い、市内にのこされた古文書のデジタル化を進めております。市史編さん室を通して依頼があった案件ですので、承諾のみ行っております。
瀧端委員長	デジタルデータを一般に公開していく方向で考えているのでしょうか。
事務局	古文書については、所有者の承諾や個人情報等の関係もあり、全てを一律に公開することは難しいと考えております。
瀧端委員長	大きな流れとしては、デジタルデータは公開して誰でも利用できる方向でいっていると思いますので、ぜひご検討いただければと思います。
白井委員	<p>小学校の現場からお話させてください。三年生が「ちょっと昔のいばらき」展と連携可能な学習をしており、今後も資料館の活用が大切だと思います。できる限り多くの小学校に団体見学をしてもらいたいですが、市内 32 校中 14 校に留まっています。見学に来られない小学校がどのような学習をしているのかという実態把握を行い、かつ、来られない小学校へ出前授業を紹介する発信の仕方について考えていけば、多くの小学校にご利用いただけるのではないのでしょうか。</p> <p>また、毎年初任の先生方を連れて、文化財資料館やキリシタン遺物史料</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 要 旨 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>館の見学および講座を実施しています。昨年の研修では、キリシタン遺物史料館を利用しました。大きいバスでいくのが難しい館であるため、バスを降りて歩いて向かうわけですが、昨年度はせっかくの機会なので、里山センターの方を回る遊歩道を利用したところ、道が悪く、草をかきわけていくようなかたちでした。今後、周辺の遊歩道を整備されたら、楽しみも増える見学になると感じたので、ご検討をよろしくお願いいたします。</p> <p>小学校団体見学についてですが、一昨年度および昨年度の小学校三年生の団体見学はともに14校で、うち入れ替わりは1校のみです。文化財資料館へアクセスしやすい小学校を中心に来ていただいているという印象があります。アクセスしにくい小学校への対応については、白井委員にもご助言いただいた出前講座を考えており、今年度は生涯学習出前講座のみならず、学校への出前講座を積極的に実施したいと考えております。また、その周知方法として、現在、すべての市内小学校に案内を配布中で、今月中に完了する予定です。</p> <p>また、キリシタン遺物史料館周辺の遊歩道の整備についてですが、北部整備推進課が、北部地域の活性化の一環として、周辺の回遊路の整備を行っております。そちらと連携して進めているところでございます。</p>
難波委員	<p>小学校3年生に比べて、小学校6年生の団体見学が少ないのは理由があるのでしょうか。</p>
事務局	<p>6年生については年々減少しているのが現状です。現在の学習指導要領上、4月・5月はどうしても修学旅行の準備期間と重なってしまうため、この期間に資料館をご利用いただくのは厳しいという声をいただいております。</p> <p>その対策として、今年度は、縄文時代から古墳時代といった小学校で習う歴史の導入部分に限らず、例えば2学期初め、中世を学ぶところをご利用いただくなど、各小学校の事情に合わせた団体見学を実施できればと考えております。また、6年生についても、出前講座を進めていきたいと考えております。</p>
瀧端委員長	<p>小学生、中学生とききましたので、吉村委員は高校生の利用をされているので、少しご感想をお願いします。</p>
吉村委員	<p>もう10年以上前ですが、私の前任者である教員がかなり思い切った取り組みをしてくれたおかげで、毎年12月に日本史を選択している2年生全員</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 要 旨 ・ 決 定 事 項
	<p>を文化財資料館へ見学会として来させていただいており、お世話になっております。</p> <p>見学会の中身ですが、常設展およびタイミングがあればテーマ展の見学、収蔵庫や発掘で掘り出された出土品の整理作業をおこなっている場所などを学芸員に引率させていただいて見学するバックヤードツアー、学芸員による30分程度の講義に加え、さらにそのあとは土器や石器など本物の遺物を生徒たちに手に取ってもらって、質問にも答えていただくことをさせていただいております。前半組、後半組と分けて実施しているのですが、後半組の場合は終わるのが17時、なかには17時半くらいまで粘っている生徒もおります。</p> <p>以前は、年によっては170人、180人くらいお世話になった時期もあったのですが、学校のカリキュラムの組み換え等で、残念ながらここ1～2年、日本史を選択する生徒が100人を切るくらいになってしまいます。</p> <p>今後も可能な限り、続けさせていただきたいと思います。</p>
瀧端委員長	<p>ありがとうございます。生徒さんにも大変好評なようですね。他に質問はいかがでしょうか。</p>
難波委員	<p>学校教育に関してですが、若い頃から資料館に親しんでいただくと、大きくなってから子どもをつれてくること等が絶対あると思いますから、非常に良いことだと思います。吉村委員がされていることは、将来の考古学業界にとっても非常にありがたいことだと思います。</p>
若林委員	<p>小学校、中学校の場合、市立の博物館に行くときは、地域の歴史という観点になると思います。一方、高校生の場合、茨木高校の場合は広域ですし、地元の歴史というよりは、日本史という感覚になると思うのですが、教えることはどのように変えているのでしょうか。実際はそれほど変わらないのかもしれませんが。</p>
事務局	<p>若林委員のご指摘のとおり、小・中学校は学校の教科書で習ったことが、実際、茨木市域でも広がっているという地域の歴史の紹介になります。一方、高校についても、文化財資料館が地域博物館である以上、大きくは変わらない解説や講義をしています。ただ、そのなかでも、銅鐸の铸造、藤原鎌足、隠れキリシタンなど市域の枠組みを越えるような歴史を扱うことで、若林委員がおっしゃる問題は克服できていると考えています。</p>
瀧端委員長	<p>小、中、高ときて、私のところは大学なのですがけれども、博物館実習で</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 要 旨 ・ 決 定 事 項
	<p>お世話になっておりますし、出前講座でも大変お世話になっております。対応する年齢層を幅広くしてくださっているので嬉しいです。他にいかがでしょうか。</p>
若林委員	<p>資料収集・管理事業の館外貸出のなかに、大阪大学の個人に貸出というのがあるのですが、これはどのようなものでしょうか。</p>
事務局	<p>日本学術振興会における科学研究費助成事業の調査に伴って、機械を設置している場所でしか行えない調査ということで、特別に個人に貸し出ししました。実際の借用に際しては、科学研究費助成事業の研究代表者名で館外貸出の対応を行いました。</p>
若林委員	<p>個人でというかたちでしかできないということですね。わかりました。</p>
	<p>《 案 件 3 平 成 28 年 度 文 化 財 資 料 館 等 事 業 計 画 に つ い て 》</p>
瀧端委員長	<p>引きつづきまして、報告事項の「平成 28 年度文化財資料館等事業計画について」、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>平成 28 年度文化財資料館事業計画資料をもとに説明。</p>
瀧端委員長	<p>ただいまの報告のなかで、ご意見・ご質問等をよろしくお願いいたします。</p>
若林委員	<p>北大阪ミュージアムネットワークについて、連携展について文化庁の補助金に採択されなかったので展示しないということですが、これまでは文化庁の補助金でこの事業の展示は動いていたということでしょうか。</p>
事務局	<p>連携展の実施は昨年度のみです。昨年度については、文化庁の補助金で実施しております。</p>
若林委員	<p>これまでの展示は文化庁からの補助金のみでやっていて、各館から予算を持ち出すことはやっていないということですね。</p>
事務局	<p>北大阪ミュージアムネットワークは、負担のある連携ではなくて、ゆるやかな連携を目指しており、事業についても補助金で実施しております。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 要 旨 ・ 決 定 事 項
吉村委員	質問なのですが、調査研究事業の「竜王山にまつわる信仰の調査・研究」のなかで竜王山の測量調査、発掘調査がありますが、高校生を連れて見学を希望した場合、受け入れていただけるのでしょうか。
事務局	文化財資料館単独の調査ではありませんので、共同で調査する科学研究費助成事業の研究代表者及び先生方と諮り、お返事したいと思います。
瀧端委員長	第一線の研究現場を高校生が見学できるというのは、将来の進路選択に非常に良いかなと思いますので、実現できれば良いと思います。
岡市副委員長	<p>数年前、学芸員の増員について質問がありました。その際は「この審議会はそのようなことを討議する場所ではございません」と言われました。また、その際にある委員が資料館を博物館へする計画についても質問しましたが、そっけない返事でした。今は大変充実した資料館となり、学芸員も育ち、大変大きな進歩を遂げました。今まさに、総合的な博物館を検討する時期にきているのではないかと思います。</p> <p>新博物館を建て、ここの資料館を東奈良遺跡に特化した館にすることも一案です。難しいことだと思いますが、長期的な計画をたてられても良い時期だと思います。</p> <p>歴史街道についてですが、茨木市域には西国街道があります。私は、西国街道は自由な街道のひとつだと思うのですが、亀岡街道やそれに付随する街道は時代によって変化します。そういったものもおさえることによって茨木のムラからまちへの変遷がわかるのではないかと思います。総合的にそのような点を念頭に置いていただきたい。</p> <p>また、さきほど吉村委員のお話にありましたが、高校生の調査見学は非常に大切だと思います。人数的な制約があるでしょうが、クラブや先生を通じて、多くの方に声をかけていただくことを希望します。</p>
瀧端委員長	文化財資料館に学芸員と文化財調査員が各1人ずつ新しく増員され、茨木市として文化政策にうって出ようとされているのかなと感じます。どのようなお考えなのかを少しお話いただけたらと思います。
事務局	<p>文化財資料館を中心に、埋蔵文化財についても充実を目指しながら、事業計画をはかってきました。茨木市域では開発が非常に多く、担当課としてもまずは埋蔵文化財の発掘調査員が欲しいという要求をずっと数年行っていました。</p> <p>ただし、文化財行政を進めるにあたり、それだけでは難しいということ</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 要 旨 ・ 決 定 事 項
	<p>もあり、違う分野の学芸員を募集しました。茨木市のなかでは特別な計らいで、人材の配置を検討してもらいました。文化財行政に携わる者としては、人員の充実は非常にありがたいことです。様々な分野で今まで「点」でしかできなかったことが、「面」でもできるという幅が増えてきた状況で、これからも期待をしていただけるように努めたいと思います。</p> <p>また、第5次茨木市総合計画の中でも「みんなの“楽しい”が見つかる文化のまち」ということを示し、福岡市長のマニフェストでも歴史をつうじたまちの魅力の発信についてうたっております。今までも訴えてこなかったわけではないですけれども、なんとか資料館を盛り上げたい、あるいは建て替えを含めて、公開承認施設等に引き上げていけるような、ひとつでも上のステージへということも検討しております。</p> <p>ただ、茨木市では昭和40～50年代に建ててきた建物の更新時期を迎えております。市としては、建物の長寿命化、公共システムのマネジメント指針を作成し、それをいかに通していこうかという時でございます。資料館についても、なんとかすばらしい展示ができるように、と訴えているのですが、博物館まではいかないのが現状です。施設や文化財担当セクションはございますので、そういう施設を目指して、これからも重要性は訴え続けていきたいと考えております。</p>
瀧端委員長	<p>新しい専門職員が入り、展示に幅がでると思います。頑張れば、市民の皆様からの評価につながります。建物もいずれは更新していくということで、うまくその順番に入れればいいかと思います。</p> <p>思い出したのですが、以前の審議会では字がかすれている説明案内板を変えないのかと指摘がありましたが、今回の資料を見ると変わっています。すぐにはできない事情はあるのですが、順々に実現されており、その点は非常にうれしく思います。</p>
足立委員	<p>幅を広げるという話がでました。事業報告や計画を聞くと、王道と呼ぶべき館の運営をされていると思います。文化財、歴史という基盤をきちっと固めてやっていくという点で、本当に素晴らしいことだと思います。</p> <p>だからこそ可能になると思うのですが、「くずし」の部分があっても良いのではないかと思います。例えば、今年度のテーマ展で行う絵図の展示の関連事業で絵図を持って歩くウォーキングを計画されていますが、資料館の外と結びつけていく。例えば、昨年度のテーマ展「龍王山をめぐる信仰と人々」では、展示のほかに講演会や学芸員講座がありました。現在すごく山がブームですので、「健康&信仰を学ぼう」みたいな企画も面白いと思います。当然、学芸員が全て行うのは大変だと思いますので、他のセク</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 要 旨 ・ 決 定 事 項
瀧端委員長	<p>ションや団体との連携で行えばよいと思いますが、このような取組みも文化財資料館を知っていただくうえで重要だと思います。</p> <p>また、展示図録の16ページに掲載されている蔵王権現像が、不謹慎かもしれませんが、パッと見て猫に見えました。このように感じるだけで、私の中では猫の権現さんとして蓄積されるわけです。そこからいろんなことがスタートすると思います。アートの部分と結びつけて何かをやる、もしくは蔵王権現像のしなやかな動きをダンスと結びつける。毎回とは言いませんが、年に1回くらい少し遊んでみるというような気持ちでやってみても面白いのかなと思います。普段文化財にご縁のない方々にもアピールする機会になると思います。</p> <p>ただ、めちゃくちゃに勝手気ままにやるのはおかしいと思います。文化財についての王道と呼ぶべき蓄積があるからこそ「くずせる」と思います。</p> <p>「権現ダンス」とかできそうですね。茨木は若い年代でダンスをする方が多いので、また違う客層の方々が来てくれると思います。</p> <p>天使讃仰図の高精細デジタル撮影及び複製品作成についてですが、これはどういうかたちで活用していくのでしょうか。</p>
事務局	<p>記録と活用の2点が事業の主眼であり、現状を記録するということ、細部にわたって詳細に観察が可能になること、そして高精細な複製品を完成させることができます。</p>
瀧端委員長	<p>個人所蔵のものだと扱いが難しいかもしれませんが、一般の方もこれをヒントにして、何か新しい産業でもネタでも子供の活動でも、やわらかい方向へ利用していってもらって、今まで歴史に興味がなかった人にもきていただくという展開はいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>デジタル撮影とは別になりますが、一昨年、イオン茨木店で出前展示を行った際に、折り紙でマリア像を作り、持って帰ってもらうワークショップを行いました。これも一つの「くずし」になるかと思います。ショッピングセンターですので、子どもの来場者も多く、楽しんで帰っていただけたと感じております。</p> <p>また、事業報告で詳細を述べませんでした。体験学習も足立委員がおっしゃる「くずし」に該当すると思います。きちんとした古文書の解読や調査・整理があつてこそですが、昨年度は篆刻や自分の花押を作ってみるという子ども向けのワークショップを実施しました。</p> <p>また、足立委員に竜王山の展示に関連して山のウォーキングをご提案い</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 要 旨 ・ 決 定 事 項
岡市副委員長	<p>ただきましたが、茨木市観光協会が展示終了後に竜王山の観光ウォーキングを実施しております。展示で関心が高まった効果で、参加者が非常に多かったと聞いております。今後も、このように外部の団体と連携しながら、活動を検討して参りたいと思います。</p> <p>色々なコラボレーションがあり、観光協会もそうですが、シニアカレッジともできていますね。そういうなかで遊びの方向に持っていったらえれば、楽しいまちになるのではないかと思います。応援団がいっぱいできていったら良いと思います。</p>
難波委員	<p>この資料館は、小規模のわりには入館者が多いと思います。理由の一つは、交通の利便性が非常に大きいのではないかと思います。たまたま東奈良遺跡がここにあったので、駅の近くに資料館ができたという経緯があるのだと思いますが、結果として、それが功を奏して人が集まりやすいのだと思います。</p> <p>将来的に博物館がどうなるかわかりませんが、いろんな地域で失敗している事例として山際の文化ゾーンに博物館を持って行くことがあります。立派な施設はできたけど、非常に足の便が悪くて入館者が入らない。もし将来、博物館移転を考えるのであれば、この点は考慮した方がよいと思います。この館は面積的には狭いかもしれませんが、場所としては非常によいので、ここをうまく活かして何かやるというのも、私は選択肢としてあると思います。</p> <p>北摂の山岳寺院の調査についてですが、仏像等良いものがあるわりには注目されてこなかった分野だと思います。京都大学の吉川さんや菱田さんも調査されるとのことですので、これからおもしろい成果がどんどんでてくるのではないかと私も楽しみにしております。</p> <p>ぜひ、他に誇れる非常にしっかりとした調査・研究というのもまずはやっていただいて、その成果をうまく活用することが大事だと思います。文化財資料館のスタッフも充実してきたので、ぜひやっていただけたらと思います。播磨の方までつながるような山岳仏教の流れがあり、色々おもしろい話があるみたいですので、展開していただければ、いい業績になると思いますし、市民もいろんな興味をもって、目を向けていただけたらと思います。</p>
事務局	<p>竜王山についてですが、潜在的に市民の関心が高いテーマだと感じております。どういことかと申しますと、一昨年と一昨々年のテーマ展は新聞各紙に取り上げていただいて宣伝効果の大きい展示でしたが、竜王山の</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 要 旨 ・ 決 定 事 項
	<p>展示はそのような新聞報道がなかったなか、過去2回のテーマ展を超える入館者数でした。来館者にお話を伺うと、以前竜王山の近くに住んでいたとか、茨木の北部のことを知らなかったとか、ハイキングでよく訪れる山の歴史を知ることができてよかった、などの声をいただいております。</p> <p>そのため、調査・研究成果を市民へ還元しやすいテーマだとも言えると思います。今後、難波委員におっしゃっていただいたように、しっかりした竜王山の調査・研究を行い、それを発信していきたいと考えております。</p>
瀧端委員長	<p>時間がおしてきたのですが、是非というのがありましたら、どうぞ。</p>
若林委員	<p>もうすこしポップに、という意見がありましたが、いろんな人を巻き込むのは大変だと思います。やりやすい方法の一つとして、ロゴやマークを作るという手があります。</p> <p>ロゴを作ることができれば、親しみやすくなると思いますし、ロゴの公募を通して市民の方々に文化財資料館を知ってもらうという利点もあると思います。ただ、市役所の場合、募集する際に中立性のことがあって大変だと思いますし、市のマークがあることも重々承知しております。また、公募はどう選ぶか、採用した人の権利等も難しい点も重々承知しております。</p>
事務局	<p>いただいた意見をもとに、検討して参りたいと思います。</p>
瀧端委員長	<p>ありがとうございました。次年度の事業計画につきましては、事務局提案のとおり進めていただき、次年度の審議会で報告を受け、審議するということでよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なしの声)</p>
瀧端委員長	<p>以上で、本日の案件はすべて終了しました。いろいろなご意見ありがとうございました。</p> <p>それでは、これをもちまして、平成28年度第1回茨木市立文化財資料館運営審議会を閉会いたします。</p> <p>長時間にわたり、ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>